

News release (日本語版仮訳)

スイス・リー、2018年9ヶ月累計の決算を発表：16億米ドルの大規模保険金支払が発生するも、11億米ドルの純利益を計上

- 2018年9ヶ月累計のグループ純利益は11億米ドルを計上。16億米ドルと見込まれる自然災害と大規模な人災の保険金支払が影響
- 損害再保険事業(P&C Re)は6億3,400万米ドルの純利益。大規模損害事故が影響
- 生命・医療再保険事業(L&H Re)は好調で6億4,400万米ドルの純利益を計上、総保険料は成長を維持
- コーポレート・ソリューションズの総収入保険料は引き続き成長を維持したが、大規模損害事故により500万米ドルの純損失
- ライフ・キャピタルは10億米ドルという極めて高い総キャッシュフローを計上、400万米ドルの純利益
- グループの株主資本利益率(ROE)は年率換算で4.7%、投資収益率(ROI)は年率換算で2.8%、直接利回りは2.9%
- グループのスイス・ソルベンシー・テスト(SST)比率は本年既報値の269%から285%(2018年7月1日の見積値)に上昇し、力強さを維持
- グループ最高執行責任者(COO)のトーマス・ヴェラワーが2019年6月末で退任

チューリッヒ、2018年11月1日 - スイス・リーは、2018年1～9月期のグループ純利益が11億米ドルとなり、同期間に自然災害と大規模な人災による概算16億米ドルの保険金支払が発生したにもかかわらず、前年同期の4億6,800万米ドルの損失から回復したことを発表しました。グループの損害再保険事業は第3四半期に自然災害と大規模な人災の影響を特に受けましたが、グループの生命・医療事業は引き続き力強い業績を達成しています。生命・医療再保険事業は好調な純利益を計上し、ライフ・キャピタルは2018年1～9月期に極めて高い総キャッシュフローを計上しました。スイス・リーは非常に強い資本基盤を維持しており、資本管理を優先順位に従って実行する柔軟性を備えています。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「第3四半期は、再び自然災害と大規模な人災が立て続けに発生しました。特に日本と米国では甚大な人的被害が出ており、事業者も混乱を余儀なくされました。米国の状況は依然として厳しく、10月にはハリケーン「マイケル」が上陸しています。ここ数ヶ月の災害で被害を受けた皆様に心からお見舞いを申し上げます。こうした過酷な状況の中、当社にはお客様およびお客様の顧客を支援する強固な財務力があ

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171


New York
Telephone +1 914 828 6511

Singapore
Telephone +65 6232 3302

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

す。それが、速やかに保険金を支払い、被災した人々と事業者の復興を支援するという、当社の持つ価値となって表れています。」

2018年9ヶ月累計のグループ純利益は自然災害と大規模な人災の影響を受ける

スイス・リーは、2018年1～9月期のグループ純利益が11億米ドルとなり、2017年同期の4億6,800万米ドルの損失から回復したことを報告しました。この業績は、自然災害と大規模な人災、特に日本の台風「チービー」と「チャーミー」、米国のハリケーン「フローレンス」と山火事「カー」、カナダの暴風被害により16億米ドルと見込まれる保険金支払の影響を受けています。純利益には、以前発表され2018年1月1日に発効した、株式投資の認識と測定に関する米国会計基準(US GAAP)による推定1億4,400万米ドルの税抜き前のマイナス影響も反映されています。米国会計基準による影響を除外した場合、純利益は12億米ドルとなります。

スイス・リーは2018年1～9月期に4.7%の年率換算ROEを計上する一方、事業の選択的成長を続けています。スイス・リーの投資ポートフォリオは、全体的な業績に対して引き続き堅調に貢献しています。第3四半期の力強い時価株主資本利益率の恩恵を受け、グループの年率換算ROIは2.8%となり、2018年上半期における不利益な影響を一部相殺しました。債券の直接利回りは2.9%でした。新しい米国会計基準の影響を除外した場合、グループROEは5.1%、ROIは3.0%と見込まれます。スイス・リーの高品質なポートフォリオは、より高い利率で再投資できる資産配分を引き続き維持し、純投資収益のさらなる成長を支えています。

1～9月期の総収入保険料は、主にグループの生命・医療事業における保険料の伸びにより、6.5%増の284億米ドルとなりました。為替変動の影響を除いた場合は、4.4%増となります。

2018年9月30日時点の普通株主資本は290億米ドルに減少しました。これは、高い利率の債券における未実現利益累計額の減少とともに、継続中の自社株買い戻しプログラムが影響しています。

スイス・リー・グループの最高財務責任者(CFO)であるジョン・デシーは次のように述べています。「災害が少なく穏やかであった今年の上半期に続く第3四半期となる今期は、単独四半期における保険金支払水準としては大きくなりましたが、1～9月期の累積損失は、概ね年初来予想の範囲内に収まっています。大規模な損失を経験するたびに、市場の悪い状況に積極的に対応するための堅牢な資本基盤を維持することの重要性を喚起させられます。上半期のグループSST比率の上昇は、当社の強力なキャッシュフローの裏付けであり、資本管理の優先順位に沿った今後の行動の基本になります。」

損害再保険事業の業績は自然災害と大規模な人災の影響を受ける

1～9月期の損害再保険事業の純利益は6億3,400万米ドルとなり、12億米ドルに及ぶ自然災害と大規模な人災による損失の影響を大きく受けまし

た。自然災害による損失には、日本の暴風、洪水、台風「チャービー」、「チャーミー」による被害、米国のハリケーン「フローレンス」と山火事の被害、カナダの嵐の被害が含まれます。

年率換算したROEは8.3%でした。コンバインド・レシオは前年同期と比較して99.5%に改善されました。損害再保険事業は、99%のコンバインド・レシオ予測に沿って順調に業績を重ねており、第4四半期に予想される大規模損失平均も想定しています。

1～9月期の総収入保険料は138億米ドルとなり、引受規律を維持しながら前年同期より改善が見られました。

生命・医療再保険事業は、引き続き好調な純利益を計上し、総保険料の成長を維持

1～9月期の生命・医療再保険事業の純利益は6億4,400万米ドルでした。この業績は、主にカナダとニュージーランドにおける大規模取引、アジアとEMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ)における堅調な業績、確実な投資成績によるものです。年率換算したROEは12.5%でした。1～9月期の債券の直接利回りは、前年同期の3.3%に対して3.4%となりました。

この9ヶ月の総収入保険料は11.7%増の108億米ドルとなりました。これは、すべての市場の成長とグループ間の再々保険契約によるプラスの影響、さらに有利な為替変動によるものです。

魅力的な成長は、生命・医療再保険事業内で強力な経済価値の創出につながり、引き続きグループの力強いソルベンシー・キャッシュフローの原動力となっています。

コーポレート・ソリューションズの純利益は、自然災害と頻発する大規模な人災の影響を受けたものの、力強い総保険料の成長を達成

コーポレート・ソリューションズは、2018年1～9月期に500万米ドルの純損失を計上し、大規模な人災と自然災害による損失の影響を大きく受けた期間となりました。第3四半期の損失には、イタリア、ジェノバでの橋の崩壊、ドイツでの造船所火災、米国のハリケーン「フローレンス」などの自然災害が影響しています。

2018年1～9月期のROEは年率換算で-0.3%となり、コンバインド・レシオは105.4%でした。

総収入保険料¹は9.1%増の31億米ドルとなりました。これは元受幹事保険会社としての引受事業の成長が主因となっています。

¹ デリバティブ形式の保険契約の保険料も含み、再保険事業部に内部フロンティングしている分は差し引く。

2018年9月29日に発表したとおり、アリアンツ・グローバル・コーポレート・アンド・スペシャルティ・エスイーの前最高地域・市場責任者兼理事会役員のアンドレアス・ベルガーが、コーポレート・ソリューションズCEO兼グループ執行委員会役員に就任することになりました。以前の発表より1ヶ月早い2019年3月1日に着任し、スイス・リーの職務を開始する予定です。

ライフ・キャピタルは引き続き極めて高い総キャッシュフローを計上

ライフ・キャピタルは、総キャッシュフローを最適化する戦略に引き続き取り組んでいます。2018年1～9月期で、ライフ・キャピタル事業単位は10億米ドルという極めて高い総キャッシュフローを計上しました。これは、基盤となる力強い余剰資産、ReAssure社のMS&ADへの初回売却分の収益、2017年度末法定評価の完了によるものです。

ライフ・キャピタルの純利益は400万米ドルとなり、ユニットリンク保険と配当付保険の利益は英国投資市場の不振の影響を受けました。また、リーガル&ジェネラルのポートフォリオ買収の統合関連コスト、オープンブック事業における継続的な投資関連の開発コストも影響しています。1～9月期のROEは年率換算で0.1%でした。

この9ヶ月の総収入保険料は22億米ドルに増加しました。これは、すべての事業の成長とともに、グループ間の再々保険契約の影響によるものです。

ライフ・キャピタルは、ヨーロッパと米国の個人および団体保険事業で堅実な成長を維持しています。iptiQのB2B2Cデジタル保険商品は好調で、販売パートナーも増加し、これまでに15社のパートナーがサービスを開始しています。

引き続き資本管理の優先順位に注力

スイス・リーのグループ SST 比率は 285% (2018 年 7 月 1 日の見積値) となり、目標の 220% を大きくクリアして市場首位を維持しています。グループの優れた資本基盤と力強い経済収益が持続的なキャッシュフローを支え、グループの資本管理の優先順位に沿った魅力的な今後の活動のための基盤となっています。

トーマス・ヴェラワーが 2019 年 6 月末で退任

スイス・リーは本日、グループの現最高執行責任者 (COO) 兼グループ執行委員会役員を務めるトーマス・ヴェラワー (63 歳) が 2019 年 6 月末をもって退任することを発表しました。

トーマス・ヴェラワーは、2010 年にスイス・リーのグループ COO として入社、新たな持株会社構造と法的に独立した事業単位の導入に当たり複数年にわたる複雑な会社再編成業務の指揮を執りました。近年は、グローバルに統合された業務プラットフォームの導入を成功に導き、IT、人事、法務、デジタル配信など、関連業務に携わる 3,500 人を超える従業員に企業のマインドセットを伝えていきます。さらに、米国、シンガポール、ルクセンブルグのスイス・リー主要子会社の取締役会役員とともに、スイス・リーのスイス CEO として代表を務めてきました。また、2017 年に開設された新しい本部である「スイス・リー・ネクスト」を持つキャンパス・ミテンケの設立案推進にも尽力しました。

スイス・リー会長のウォルター・B・キーホルツは次のように述べています。「スイス・リー取締役会の役員を務め、長年にわたってスイス・リーに多大に貢献してくれたトーマス・ヴェラワーに感謝したいと思います。彼のリーダーシップにより、オペレーション事業部門は非常に効果的かつ効率的な会社の支柱としての発展を遂げました。トーマス・ヴェラワーの豊かな経験、戦略的なマインドセット、起業家精神は貴重なものでした。後任者の決定次第、円滑な引き継ぎを進めてまいります。」

自然災害に革新的なソリューションで対応

スイス・リーは、リスク・ノレッジの活用、および革新的な保険ソリューションを効果的に提供する技術の育成のための戦略を継続します。特に、自然災害がその勢いを増し、災害多発地域で広範囲に被害を及ぼし続ける中、気候リスクの影響を緩和するソリューションの優先度が年々高まっています。

2018 年には、日本と米国が台風と暴風により大きな被害を受け、激しい強風と沿岸地域や内陸で発生した洪水がコミュニティ全体を崩壊させました。洪水は最近まで保険対象外のリスクと考えられていましたが、テクノロジーの発展により、スイス・リーは他に先駆けて革新的な洪水リスク・モデリング商品を導入しています。フロリダ州のセキュリティ・ファースト・インシュアランスと共同展開するこの保険商品により、地元住人は、住宅所有者保険から洪水を対象とした保険給付を受けることができます。合併事業が洪水補償に技術革新をもたらしました。等級はスイス・リー独自の洪水リスク・モデルに基づいて評価され、個々のリスク影響度に応じて保険料が設定されます。

スイス・リーのグループ最高執行責任者のクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「2012年から2016年まで損失の少ない穏やかな時期が続いた後、昨年は大規模な自然災害に見舞われました。2018年は、業界全体の予測どおり、平年並みの損失年となると考えられます。全世界の損害再保険事業会社は、資本金の確保に苦慮しているようです。業界は変曲点を迎え、損害保険の保険料は主要市場で堅調に推移しているように見えますが、当社の最新のシグマ調査は、持続可能な株主資本利益率を確保するには、引受利益率をさらに高める必要があると示唆しています。」

		2017年 9月期	2018年 9月期	2018年 9月期 ²
グループ連結(総額)³	総収入保険料(百万米ドル)	26 664	28 398	
	純利益/損失(百万米ドル)	-468	1 090	1 204
	株主資本利益率 (年率%)	-1.9	4.7	5.1
	投資収益率 (年率%)	3.5	2.8	3.0
	直接利回り (年率%)	2.9	2.9	
	普通株主資本 (百万米ドル)	32 783	28 995	
損害再保険	総収入保険料(百万米ドル)	13 357	13 808	
	純利益/損失(百万米ドル)	-652	634	621
	コンバインド・レシオ(%)	114.1	99.5	
	株主資本利益率 (年率%)	-7.5	8.3	8.1
生命・医療再保険	総収入保険料(百万米ドル)	9 680	10 810	
	純利益 (百万米ドル)	741	644	653
	直接利回り (年率%)	3.3	3.4	
	株主資本利益率 (年率%)	14.3	12.5	12.6
コーポレート・ソリューションズ	総収入保険料(百万米ドル)	2 948	3 176	
	純利益/損失(百万米ドル)	-762	-5	-3
	コンバインド・レシオ(%)	142.6	105.4	
	株主資本利益率 (年率%)	-56.0	-0.3	-0.2
ライフ・キャピタル	総収入保険料(百万米ドル)	1 249	2 247	
	純利益 (百万米ドル)	152	4	-6
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	789	993	
	株主資本利益率 (年率%)	2.9	0.1	-0.1

²参照用として、グループに対して2018年1月1日より発効し、遡求的に適用されていなかった金融商品の認識と測定に関する新しい米国会計基準(US GAAP)の影響を除外。

³プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは世界のレジリエンス向上を目指し、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。自然災害および気候変動、また高齢化社会からサイバー犯罪に至るまで、様々なリスクの予想と管理を行っています。スイス・リー・グループの目標は、お客様のために新しい機会とソリューションを生み出し、社会のさらなる繁栄と発展を可能にすることです。1863年にスイスのチューリッヒで創業したスイス・リーは、世界約80拠点にて事業を展開しています。大きく3つの事業部門、再保険、コーポレート・ソリューションズ、およびライフ・キャピタルに分かれて運営を行い、それぞれの事業部門がグループ全体の理念に寄与する独立した戦略と目標を掲げています。